

令和 7 年 第 4 回定例会 総務企画委員会資料

令和 7 年度 政策企画部主要事業の経過等

1	新しい県総合計画策定の進捗状況について……………	2
2	「いばらき幸福度指標」の 2025 年度の全国順位に ついて……………	4
3	シン・いばらきメシ総選挙について……………	7
4	地域公共交通の利用促進について……………	8
5	生成 A I の活用について……………	10
6	令和 7 年国勢調査の実施状況について……………	12
7	令和 4 年度県民経済計算における茨城県の状況に ついて……………	14
8	サイクルツーリズムの推進について……………	15

令和 7 年 12 月 9 日

政 策 企 画 部

1 新しい県総合計画策定の進捗状況について

(1) 第2回総合計画審議会の開催

【開催日】令和7年10月30日（木）

【内 容】新しい県総合計画の策定について（計画策定の諮問）

- ・策定の基本方針について
- ・計画（素案）等について

【主な意見】

- ・若者の県内定着に向けて、コンテンツ産業やクリエイティブ産業など、若者に魅力ある雇用の場の創出に取り組んでいただきたい。
- ・「新しい安心安全」において課題となっている治安対策についてはより重点的に取り組んでいく施策として計画に位置付けていく必要があるのではないか。
- ・優秀な外国人の受入を促進していくという取組の方向性は、社会経済活動を進める上で、重要かつ必要なことであると考えます。
- ・茨城空港については、航空会社に「選ばれる」ため、運用時間の柔軟化に加え、「アウトバウンド(県民の海外旅行促進)」施策にも力を入れて取り組んでいただきたい。
- ・計画の全体的な方向性は素晴らしく、計画の着実な推進に向け、K P I をしっかりと定め、P D C A サイクルを的確に回していくことが重要と考える。

※次回（第3回総合計画審議会）は、12月24日に開催予定。

(2) 第9回未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会への報告

【開催日】令和7年11月19日（水）

【内 容】・新たな県総合計画の検討状況について

- ・調査報告（最終提言）案の検討

(3) 新しい県総合計画骨子（素案）について

① 計画策定の方向性

- ・加速度的に進む人口減少時代の中にあっても、本県の活力を更に高めていくため、引き続き、「豊かさ」「安心安全」「人財育成」「夢・希望」の4つのチャレンジによる「新しい茨城」づくりの推進に向けた施策展開を図る。
- ・多様な人々の活躍による県勢の更なる発展を推進するため、外国「人財」に選ばれる「新しい茨城」づくりに取り組むとともに、将来にわたり本県が夢や希望を持ち、より「楽しさ」を感じられる地域であり続けられるよう、若者が集い、「楽しさ」あふれる「新しい茨城」づくりに取り組む。
- ・重点的に取り組むべき施策について、よりの的確な進捗評価を実施し、P D C A サイクルを確実に回せるよう、「主要指標」をより骨太な指標へと見直す。

② 計画の目標年度

- ・将来構想（県土のグランドデザイン等）は、2050年頃（概ね25年後）を展望する。
- ・基本計画の施策・取組等は、今後4年間（2026～2029年度）を計画期間とする。

③ 計画の構成

項目	主な内容
第1部 将来構想	・時代の潮流と茨城のポテンシャルの更なる発現・磨き上げ、「新しい茨城」づくりの基本理念、茨城の将来像（人口の見通し等を含む）、県土のグランドデザイン、地域づくりの基本方向等
第2部 計画推進の基本方針	・計画を推進するための基本方針、PDCAサイクルによる適切な進行管理等 ※計画の進捗を踏まえ、主要指標等について適宜見直しを行い、県民に公表
第3部 基本計画 (政策展開の基本方向)	<p>・「新しい茨城」づくりに向けて取り組むべき総合的な施策の体系等</p> <p>「新しい豊かさ」へのチャレンジ 政策1 質の高い雇用の創出 政策2 新産業育成と中小企業等の成長 政策3 強い農林水産業 政策4 世界に飛躍する茨城 政策5 自然環境の保全・再生</p> <p>「新しい安心安全」へのチャレンジ 政策6 県民の命を守る地域保健・医療・福祉 政策7 健康長寿日本一 政策8 障害のある人も暮らしやすい社会 政策9 安心して暮らせる社会 政策10 災害・危機に強い県づくり</p> <p>「新しい人財育成」へのチャレンジ 政策11 次世代を担う「人財」 政策12 魅力ある教育環境 政策13 日本一、子どもを産み育てやすい県 政策14 多様性を認め合い、誰もが活躍できる社会 政策15 外国「人財」に選ばれる茨城</p> <p>「新しい夢・希望」へのチャレンジ 政策16 魅力発信 No.1 プロジェクト 政策17 ビジット茨城 ～新観光創生～ 政策18 若者が集い、「楽しさ」あふれる茨城 政策19 デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進 政策20 活力を生むインフラと住み続けたいくなるまち</p>
第4部 「挑戦する県庁」への変革	・施策展開の基盤となる行財政運営の取組等

④ 県民意見等の聴取

- ・新しい県総合計画の策定にあたっては、県民や外部有識者、市町村等の意見を十分に聴取するものとする。

⑤ スケジュール

- ・パブリックコメント 令和8年2月頃
- ・茨城県総合計画審議会の答申 令和8年3月頃
- ・庁議決定 令和8年3月頃

2 「いばらき幸福度指標」の2025年度の全国順位について

「いばらき幸福度指標」の2025年度の 全国順位について

「いばらき幸福度指標」とは？

◆ 目的・概要

- ・今まで抽象的だった幸福を「見える化」 → 県民一人ひとりの幸せが実現できる環境の状況を数値で把握
- ・全国順位を算出 → 政策課題の明確化、本県の豊かさ・暮らしやすさをわかりやすく発信



◆ 茨城県が考える幸福

県民一人ひとりが未来に希望を持つことができ、自身のなりたい自分像に向かって一歩でも二歩でも近づいていけるよう、挑戦を続けられること

🍀 指標の考え方

- 公表されている**政府統計等**を基にした**客観的指標**で幸福を定量的に把握
- 総合計画で掲げる**4つのチャレンジごと**に、特色となる**キーワード**を抽出し、そのキーワードに関連する指標を設定
- 「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けた進捗を確認するため、指標を都道府県間で比較可能な数値に変換し、**毎年度全国順位を公表**
- 社会情勢の変化や幸福に係る研究成果などを踏まえ、**指標については不断の見直しを実施**（策定時 38指標 → 2025年度時点 42指標）



幸福度指標
ロゴマーク

🍀 周知の取組

- 「幸せ」についての知事対談動画の公開、広報用パンフレットや小学生向けPRカードの配布、県政出前講座の実施など、**積極的な広報を展開**



パンフレット
「IBARAKI NEXT CHALLENGE」

※（一財）日本総合研究所が作成する「全47都道府県幸福度ランキング2022年版」において、「**健全な自治体経営につながる画期的な試み**」として絶賛！

いばらき幸福度指標 指標一覧



● 新しい豊かさ

雇用	①雇用者報酬（雇用者1人当たり） ②正規雇用率
産業振興	③県民所得（県民1人当たり） ④工場立地件数 ⑤労働生産性（1時間当たり）
農林水産業	⑥農林水産業の付加価値創出額（県民1人当たり）
観光振興	⑦外国人宿泊者数 ⑧国内旅行者数
環境保全	⑨CO2排出量（県民1人当たり） ⑩一般廃棄物リサイクル率

● 新しい安心安全

地域医療・介護・保健	①医師数 ②看護職員数 ③介護職員数 （いずれも県民10万人当たり） ④介護・看護を理由とした離職率 ⑤自殺者数（県民10万人当たり）
健康長寿	⑥健康寿命
自立支援	⑦障害者雇用率 ⑧相対的貧困率
犯罪防止	⑨刑法犯認知件数（県民千人当たり）
防災対策	⑩自主防災組織カバー率 ⑪自然災害死者・行方不明者数

● 新しい人財育成

教育振興	①子どものチャレンジ率 ②大学進学率 ③学力 ④教員のICT活用指導力 ⑤不登校児童生徒率
出産・育児	⑥合計特殊出生率 ⑦待機児童率
学び・文化・スポーツ・遊び	⑧教養・娯楽（サービス）支出額 ⑨都道府県指定等文化財件数 ⑩子どもの運動能力
多様性・女性活躍・人権	⑪パートナーシップ制度人口カバー率 ⑫女性の管理職登用率 ⑬人権侵犯事件件数（県民1万人当たり）
働き方	⑭所定外労働時間 ⑮男性の育児休業等制度利用率

● 新しい夢・希望

国際交流	①留学生数（県民10万人当たり）
ベンチャー創出	②起業率
若者に魅力ある雇用	③本社機能流出・流入数 ④若者就職者超過率
新しい人の流れ	⑤転入超過率
DX推進	⑥デジタルガバメント率（市町村）

いばらき幸福度指標による全国順位（2025）



総合順位（スコア） 13位（2.04）

※2025年9月末時点で最新の統計値により算出

豊かさ 5位（1.85） 人財育成 4位（1.56）

安心安全 44位（-3.01） 夢・希望 11位（1.64）

【全国順位2024】

総合順位 13位（2.65）
豊かさ 4位（2.33）
安心安全 42位（-2.22）
人財育成 11位（1.05）
夢・希望 15位（1.49）

順位	新しい豊かさ ※1	新しい安心安全	新しい人財育成	新しい夢・希望 ※2	総合
1位	東京都 (10.24)	島根県 (3.48)	福井県 (3.11)	東京都 (6.67)	東京都 (15.46)
2位	北海道 (3.22)	大分県 (3.17)	埼玉県 (2.49)	千葉県 (5.69)	埼玉県 (7.61)
3位	愛知県 (2.92)	福井県 (3.15)	東京都 (2.31)	埼玉県 (5.62)	千葉県 (7.40)
4位	千葉県 (1.88)	石川県 (3.14)	茨城県 (1.56)	京都府 (4.84)	福井県 (5.48)
5位	茨城県 (1.85)	山口県 (2.58)	徳島県 (1.28)	福岡県 (4.29)	神奈川県 (5.07)
6位	神奈川県 (1.59)	鳥取県 (2.58)	大分県 (1.26)	神奈川県 (3.83)	愛知県 (4.60)
7位	長野県 (1.22)	佐賀県 (2.47)	岐阜県 (1.25)	大阪府 (3.56)	京都府 (4.30)
8位	静岡県 (1.03)	静岡県 (2.35)	鳥取県 (1.21)	沖縄県 (3.31)	大分県 (3.83)
9位	大阪府 (0.92)	長崎県 (2.31)	富山県 (1.13)	愛知県 (2.37)	静岡県 (3.37)
10位	山梨県 (0.90)	鹿児島県 (1.96)	石川県 (1.12)	群馬県 (1.94)	石川県 (2.92)
				11位 茨城県 (1.64)	
		44位 茨城県 (-3.01)			13位 茨城県 (2.04)

※1 2025年9月末時点で内閣府「県民経済計算」の結果が未公表の7県（栃木県、福井県、長野県、静岡県、奈良県、徳島県、香川県）については、前年度の数値を利用している。
 ※2 2025年9月末時点で総務省「地方公共団体における行政情報化の推進状況調査」の結果が公表されていないため、2024年度全国順位発表時と同じ2023年4月1日現在の結果を利用している。

いばらき幸福度指標(2025) 各チャレンジのスコアの前年度比較



総合順位 (スコア) 13位 (2.04)

※2025年9月末時点で最新の統計値により算出

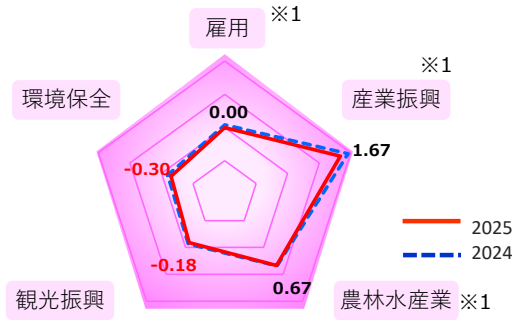
豊かさ 5位 (1.85) **人財育成** 4位 (1.56)
安心安全 44位 (-3.01) **夢・希望** 11位 (1.64)

【全国順位2024】

総合順位 13位 (2.65)
 豊かさ 4位 (2.33)
 安心安全 42位 (-2.22)
 人財育成 11位 (1.05)
 夢・希望 15位 (1.49)

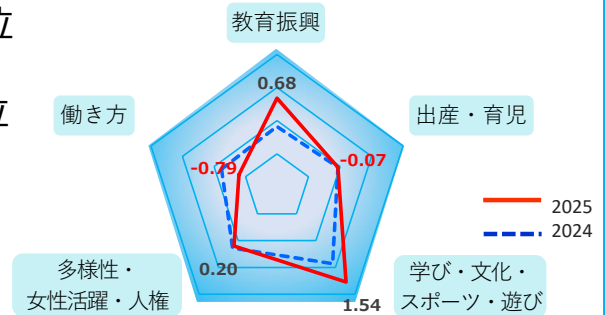
新しい豊かさ

4位
↓
5位



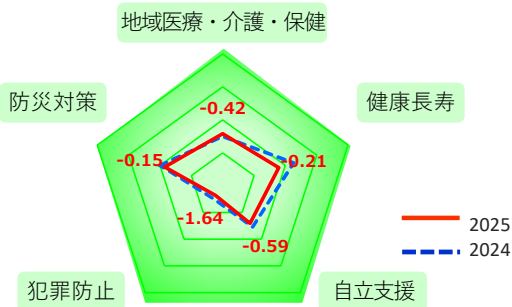
新しい人財育成

11位
↓
4位



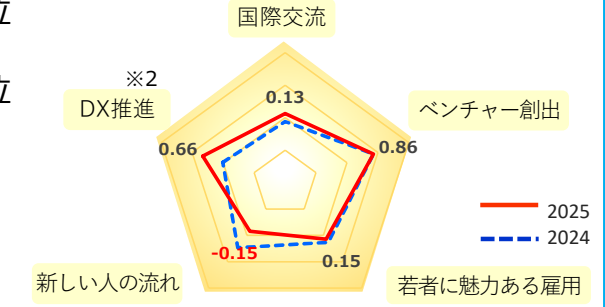
新しい安心安全

42位
↓
44位



新しい夢・希望

15位
↓
11位



※1 2025年9月末時点で内閣府「県民経済計算」の結果が未公表の7県（栃木県、福井県、長野県、静岡県、奈良県、徳島県、香川県）については、前年度の数値を利用している。
 ※2 『DX推進』の指標である「デジタルガバメント率（市町村）」は3つの統計調査をもとにスコアを算出しているが、そのうちの1つである総務省「地方公共団体における行政情報化の推進状況調査」の結果が2025年9月末時点で公表されていないことから、その統計については2024年度全国順位発表時と同じ2023年4月1日現在の結果を利用している。

3 シン・いばらきメシ総選挙について

令和6年10月に開催した「シン・いばらきメシ総選挙2024」のグランプリグルメを中心とした受賞グルメ等について、ご当地グルメとしての認知拡大・定着化を図るため、集中的なプロモーションを展開している。

また、来年10月開催予定の「シン・いばらきメシ総選挙2026」の準備を市町村等と連携しながら進め、「食」を契機とする更なる地域振興を進めていく。

(1) 受賞グルメ等プロモーションについて（シン・茨城あげそばフェア開催）

シン・いばらきメシ総選挙2024の一般料理部門グランプリ「シン・茨城あげそば（五霞町）」の認知度向上や提供機会の拡大を目的に、県内道の駅でフェアを開催。

- ・開催期間：令和7年10月25日～11月30日
- ・開催場所：県内道の駅9箇所



道の駅かつら（城里町）、道の駅いたこ（潮来市）、道の駅ごか（五霞町）、道の駅まくらがの里こが（古河市）、道の駅常陸大宮（常陸大宮市）、道の駅ひたちおおた（常陸太田市）、道の駅グランテラス筑西（筑西市）、道の駅かさま（笠間市）、道の駅常総（常総市）

- ・提供グルメ：一般料理部門グランプリ「シン・茨城あげそば」
※「茨城県産常陸秋そばのあげそばを用いること」をルールに各道の駅がのせる具材や味付けなどをアレンジ
- ・その他：秋の行楽客の県内周遊やシン・茨城あげそばの販売を促進するため、道の駅9駅を巡るスタンプラリーを実施

(2) シン・いばらきメシ総選挙2026の開催について

- ・開催期間：令和8年10月10日（土）～12日（月・祝）
- ・開催場所：茨城県三の丸庁舎（水戸市）
- ・部門：一般料理部門、スイーツ部門（前回と同様）

※前回参加グルメも含め、既存のグルメもブラッシュアップのうえ参加可能



▲各道の駅のシン・茨城あげそば



▲シン・いばらきメシ総選挙2024 表彰式

4 地域公共交通の利用促進について

(1) 背景・目的

県では、交通事業者及び市町村等と一緒に、地域公共交通の利用促進及び事業者の経営改善を支援しているところであり、今年度は、新たな取組として、スポーツ団体及び地元企業等との連携や、沿線の大学生や高校生等からのアイデアを取り入れることにより、地域資源を活用したツアーやイベントを企画・実施している。

(2) 実施内容

ア 大洗鹿島線（スポーツ団体等との連携）

- ① 開催日：令和7年11月2日（日）
- ② 主催者：（株）茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント
鹿島臨海鉄道（株）
※協力：大洗鹿島線を育てる沿線市町会議
- ③ 参加者：100名（小学生とその保護者）
※応募者430名の中から抽選で無料招待
- ④ 特 色：
 - ・通常は旅客列車が立ち入れない貨物専用線である鹿島臨港線（鹿島サッカースタジアム駅～神栖駅間）を貸切で特別運行
 - ・水戸駅～かみす防災アリーナのツアーに使用する貸切列車及び貸切バスは、茨城ロボッツのラッピングを施した特別仕様（茨城ロボッツの車両ラッピングは、大洗鹿島線で初の取組）



地元企業協賛による車両ラッピング



小学生を含む家族約100名が参加

⑤ 行 程：

時間	場所	内容
10:30	水戸駅	出発式
移動	大洗鹿島線	レクリエーション
14:00	神栖駅	貸切バスで送迎
15:05	かみす防災アリーナ	試合観戦
20:00	水戸駅	解散



かみす防災アリーナでバスケ観戦

イ 水郡線（沿線の大学生や高校生等との連携）

茨城県及び茨城県水郡線利用促進会議（構成員：茨城県、水戸市、常陸太田市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、大子町）では、沿線の大学生や高校生等と連携し、「みんなで考える水郡線ツアーアイデア会議」を立ち上げ、学生からアイデアを募り、また、そのアイデアを参考に、ツアーやイベント等を実施している。

① みんなで考える水郡線ツアーアイデア会議について

○勉強会

- ・実施日：令和7年7月15日（火）
- ・講 師：大金大子町歴史資料調査研究員、（株）やおきん、
JR 東日本水戸支社、茨城県政策企画部県北振興局
- ・参加者：約30名（オンライン併用）
- ・概 要：水郡線の歴史や現状、県北の地域資源等について、勉強会を実施



○発表会

- ・実施日：令和7年8月27日（水）
- ・参加者：31名（うち発表者：15名）
- ・概要：水郡線沿線の大学生・高校生が、沿線の地域資源を活用した、非日常体験ツアーを企画



② アイデア会議の結果を踏まえ企画したツアー・イベント

○秋の味覚と伝統文化を堪能する 水郡線ガストロノミーツアー

- ・実施日：令和7年10月25日（土）
- ・場所：常陸大宮市（常陸大宮駅）
- ・参加者：7名（募集定員：10名）
- ・概要：組立式農村歌舞伎舞台「西塩子の回り舞台」の見学、YOSHIKI FUJI の特別ランチコース、キウイフルーツの収穫体験を楽しむ、ガストロノミー&カルチャーツアー



○水郡線で行こう！うまい棒フェスタ in 大子

- ・実施日：令和7年11月22日（土）
- ・場所：大子町（常陸大子駅）
- ・来場者：約1,800名
- ・概要：うまい棒発祥の地・大子町を舞台にした、子どもから大人まで楽しめる参加型イベント



○水郡線を活用したリトリートツアー（予定）

- ・実施日：令和8年2月
- ・参加者：約10名（中小企業・団体を想定）
- ・概要：サウナや温泉、特別な食事を堪能し、心身を整えるツアー



（3）今後の展開

- ・大洗鹿島線については、沿線市町と一緒に、サッカー観戦や水族館など、様々な観光資源を活用した新たなツアーも検討し、大洗鹿島線の利用促進及び鹿島臨海鉄道（株）の経営改善を図っていく。
- ・水郡線については、今年度末には実施内容の成果発表を予定するなど、引き続き、沿線の大学生や高校生と連携し、ツアーやイベント等を企画検討していく。
- ・それ以外の地域鉄道やバス・コミュニティ交通についても、沿線市町村と一体となって利用促進のための効果的な企画や支援を行っていく。

5 生成 A I の活用について

(1) 目 的

人口減少時代に、限られた職員数で、多様化・複雑化する行政課題に対応していくため、生成 A I を活用した業務の効率化と行政サービスの質の向上に取り組む。

(2) 概 要

生成 A I の活用の際し、入力した情報が外部に漏えいすることのない、セキュリティの高い利用環境を構築するとともに、職員が遵守すべきルールを明確化した A I 利用ガイドラインを 2023 年 5 月に策定し、情報の真偽や出典等を必ず確認するなど、安全性の確保に万全を期している。

そのうえで、生成 A I の汎用的機能や本県独自の A I システムの活用を進めている。

<活用事例>

	活用状況
①生成 A I の汎用的な機能を活用した業務効率化	<ul style="list-style-type: none">・挨拶文やプレスリリースといった各種文書の作成、情報の要約や翻訳、さらには事業のアイデア出しや業務改善のためのプログラムコード作成など、日常業務の様々な場面で活用。・利用者数：約 1,000 名・利用回数：約 20,000 回／月
②県の条例やマニュアルなどを学習させた本県独自の A I システムによる業務効率化	<ul style="list-style-type: none">・条例やマニュアル、過去の対応事例を学習させたシステムを構築。・現在、下記 4 業務に関する問い合わせに対応。<ul style="list-style-type: none">✓財務会計事務✓高圧ガスの取扱いに係る指導・監督業務✓人事・サービスに関する業務✓医療法関係業務・2025 年度中にはさらに 3 業務分の環境を整備予定。・利用者数：約 500 名・利用回数：約 2,000 回／月

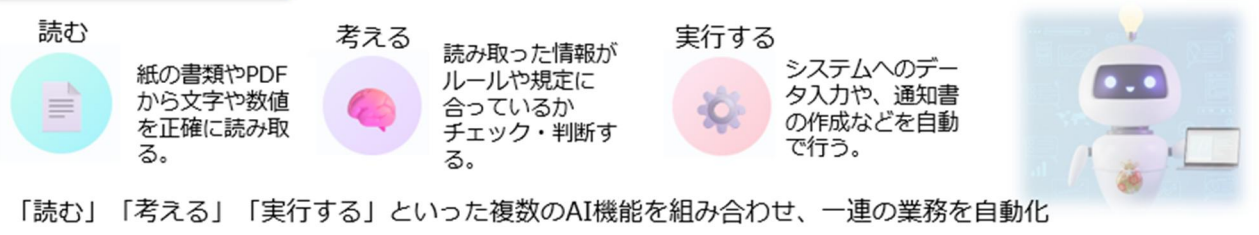
(3) 今後の展開

現在、A I エージェント（自律型A I）の実用化に向けた実証実験を行っており、今後、県の支出審査や許認可・補助金の審査などでの活用を目指す。

＜A I エージェントとは＞

- ・県が実証実験を行っている「A I エージェント」は、複数のA I 機能を組合せ、一連の業務を自律的に実行する仕組み。
- ・実証実験では、申請書類を読み取るA I が文字や図形を認識し、別のA I がその内容を分析して、記載漏れの有無、法令への適合性、添付書類との整合性などを自動で確認できるか検証している。

AIエージェント概要



6 令和7年国勢調査の実施状況について

○目 的

国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づき5年ごとに実施する。

○概 要

(1) 調査対象

令和7年10月1日現在、日本国内に3か月以上ふだん住んでいるすべての人（外国人を含む）及び世帯。本県では約280万人、約124万世帯が対象。

(2) 調査期間 9月20日～10月27日

(3) インターネットによる回答の推進

調査世帯の負担軽減のため、各種広報活動によりインターネット回答を推進した。

- ・広報誌「ひばり」、新聞、ポスター（駅、コンビニ等）、街頭啓発活動（JR水戸駅前）、SNS等を活用した広報
- ・「令和7年国勢調査広報キャラクター」を活用した動画をエクセルビジョン（水戸駅南口）、イオンモール（水戸内原、土浦、つくば）、メルカリスタジアム、常陽銀行等で放映。



(4) インターネット回答状況（10月9日午前0時現在）

区 分	インターネット回答数 ①	R2国勢調査世帯数 ②	インターネット回答率 ① / ②
茨城県	537,855	1,184,133	45.4%
全 国	25,329,702	55,830,154	45.4%

※上記に加え、郵送提出、調査員回収（調査員回収を希望した世帯等）及び未提出世帯に対する近隣等への聞き取りによる調査を行い、10月27日までに調査が完了した。

※世帯数は現時点では判明していないため、R2年国勢調査の世帯数を用いている。

※郵送提出、調査員回収を含む全回答数は現時点では判明していない。

(5) 郵送配布方式の試行的導入

調査員の高齢化への対応や調査員の事務負担の軽減等の観点から、これまで統計調査員により行われていた調査関係書類の配布に代えて、郵送による配布が試行的に導入された（茨城県3市（水戸市、つくば市、ひたちなか市）及び東京都新宿区における一部のオートロックマンションに限定して実施。）。

(6) 今後のスケジュール

- ・ 県における調査書類の審査 12月1日～2月10日
- ・ 国への提出 令和7年12月18日
令和8年1月29日
令和8年2月12日（3回に分けて提出）
- ・ 結果の公表 調査結果速報 令和8年5月
調査結果確報 令和8年9月

7 令和4年度県民経済計算における茨城県の状況について

○概 要

令和7年12月3日に、内閣府が令和4年度の各都道府県の県民経済計算推計結果を公表した。

県内総生産（名目）	14兆5,856億円で、	全国第11位（前年度第11位）
名目経済成長率	0.3%で、	全国第37位（同第3位）
実質経済成長率	0.7%で、	全国第38位（同第3位）
1人当たり県民所得	348万1千円で、	全国第3位（同第3位）
1人当たり県民雇用者報酬	470万2千円で、	全国第14位（同第10位）

表 茨城県の全国順位等の推移（過去5年間） ※着色箇所は遡及改定により順位が改定となったもの。（黄：上昇、緑：低下）

年度	県内総生産（名目）		名目経済成長率		実質経済成長率		1人当たり県民所得		1人当たり県民雇用者報酬	
	（億円）	順位	（%）	順位	（%）	順位	（万円）	順位	（万円）	順位
平成30年度	143,476	第11位	0.7	第20位	0.7	第21位	338.7	第5位	462.3	第16位
令和元年度	140,440	第11位	-2.1	第40位	-2.5	第40位	332.2	第6位	474.7	第11位
令和2年度	137,179	第11位	-2.3	第12位	-3.4	第13位	314.1	第3位	470.2	第10位
令和3年度	145,490	第11位	6.1	第3位	6.9	第3位	345.2	第3位	471.3	第10位
令和4年度	145,856	第11位	0.3	第37位	0.7	第38位	348.1	第3位	470.2	第14位

※昨年12月に内閣府が国民経済計算の計数を遡及改定したことにより、各県とも令和3年度以前の計数を遡及して再計算している。このため、例えば令和2年度の本県の1人当たり県民所得の全国順位は、第4位から第3位に改定となっている。

（参考）

（1）令和4年度の日本経済の状況

- ・ウィズコロナの下で経済社会活動の正常化が進み、個人消費が飲食・旅行などの対面サービスを中心に持ち直した。
- ・ロシアのウクライナ侵略（令和4年2月22日）により原油や天然ガス、原材料等の輸入価格が急激に上昇した。
- ・世界的な物価上昇を受けた各国の金融引締めを背景に円安が急速に進行した。
- ・輸入の増加に対して輸出の増加は緩やかなペースに止まり、外需はマイナスに寄与した。

（2）本県の状況

- ・県内総生産（名目）、1人当たり県民所得は、それぞれ過去最高額を更新した。
- ・経済成長率は、コロナ禍からの経済社会活動の正常化が進んだことを受け、名目、実質ともにプラスとなった。

8 サイクルツーリズムの推進について

(1) Okukuji「X」の開催結果

① 目的・概要

本県が誇る2大アウトドア資源であるサイクルルート「奥久慈里山ヒルクライムルート」とトレイルコース「常陸国ロングトレイル」を活用した国内唯一無二のサバイバルレースを開催し、両コースの全国的な認知度向上を図るとともに、会場や休憩所等での地元産品を提供し、本県の魅力を国内外に広く発信する。

- ・開催日：令和7年10月18日(土)、19日(日)
- ・主 催：奥久慈里山ヒルクライムルート利活用推進協議会
- ・コース：【1日目】自転車(125km) 水戸→八溝山ヒルクライム→大子(袋田)
【2日目】トレイルランニング(54km) 大子(袋田)→竜神ダム→大子
- ・参加費：両競技参加 18,000円 ※いずれか1競技参加…10,000円
- ・方 式：サイクリング(八溝山ヒルクライムのタイムトライアル)
＋トレイルランニングの合計順位で決定

② 開催結果

部門	申込者数	出走者数 A	完走者数 B	完走者率 C (B/A)
サイクリング	137 人	131 人	112 人	85.5%
トレイルランニング	84 人	77 人	43 人	55.8%
計	221 人	208 人	—	—
クロス	39 人	37 人	21 人	56.7%



水戸城大手門からのスタート



トレイルランニング部門表彰式

<エイドステーションでの提供物>

○1日目 サイクリング エイドステーション

	エイド1 (道の駅かつら)		エイド2 (美和地域センター)		エイド3 (大子おやき学校)	エイド4 (八溝山展望台)
	水戸市	城里町	那珂市	常陸大宮市	大子町	
補給食	チョコ 納豆	かつどら	直巻き おにぎり	けんちん そば	おやき	アップル パイ

○2日目 トレイルランニング エイドステーション

	エイド1 (持方)	エイド2 (つつじヶ丘展望台)	エイド3 (竜神大吊橋)		エイド4 (竜っちゃん乃湯)			エイド5 (持方)
	常陸太田市	大子町	常陸太田市	水戸市	城里町	那珂市	常陸大宮市	常陸太田市
補給食	「娘来た」 小豆パイ饅頭	奥久慈茶羊羹	奥久慈たまご 焼きプリン	チョコ納豆	こちゃっこ	奥久慈卵の クリームパン	生クリーム 大福	みそ饅頭



エイドステーション

<副賞（例、優勝者用）>

- ・常陸牛 100kg
- ・県北産米 70kg
- ・地元産ウイスキー
- ・うまい棒
- ・水府提灯



クロス部門表彰式（11/18）

(2) K1 ライドの開催結果について

① 開催概要

目 的：「LAKE to LIKE - 霞ヶ浦からいばらきを好きになる-」をキーワードに、国からナショナルサイクルルートに指定されている「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を巡るライドイベントを開催し、茨城の観光資源を体感していただくこととともに、会場や休憩所等で地元産品を提供し、本県の魅力を国内外に広く発信する。

開催日：令和7年11月30日(日)

主 催：つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会

コース：1) ロングライド 126km
2) ミドルライド 94km
3) ハーフライド 57km+サイクルーズ
4) サイクルーズ+ハーフライド 55km
5) ビギナーライド 45km

② 開催結果

参加者 1,367 名 (申込者 1,513 人)

＜エイドステーションと提供物＞

エイド		補給食	
名称	所在地	提供市町村	補給食
AS1 美浦村週末カフェ	美浦村	美浦村	しらうおのお吸い物
AS2 和田公園	稲敷市	稲敷市	かぼちゃパイ
		阿見町	焼き菓子
AS3 天王崎公園	行方市	潮来市	まこものパウンドケーキ
		鹿嶋市	しらす丼
AS4 高須崎公園	行方市	行方市	鹿行乳菓 酪
		銚田市	ぬれ華豆
AS5 大井戸湖岸公園	小美玉市	小美玉市	もつ煮
		石岡市	獅子最中、みそベビーカステラ
AS6 歩崎公園	かすみがうら市	かすみがうら市	蔵棒 (かいつか)
		桜川市	うまかべすいとん
		つくば市	エンデューロフィナンシェ
GOAL 霞ヶ浦総合公園	土浦市	土浦市	蓮豚焼き



スタート会場



エイドステーション